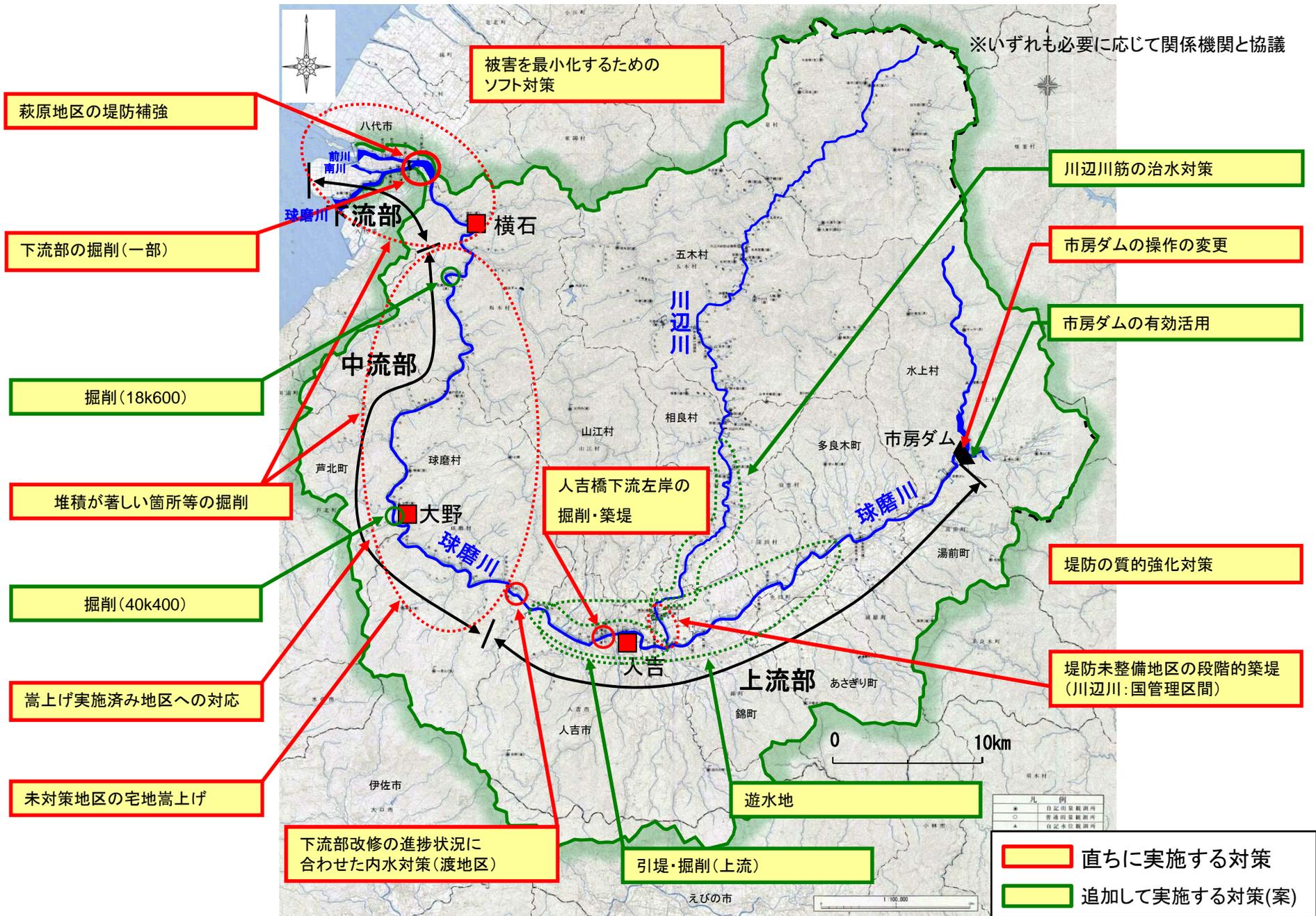


球磨川治水対策協議会
第4回 整備局長・知事・市町村長会議
説明資料

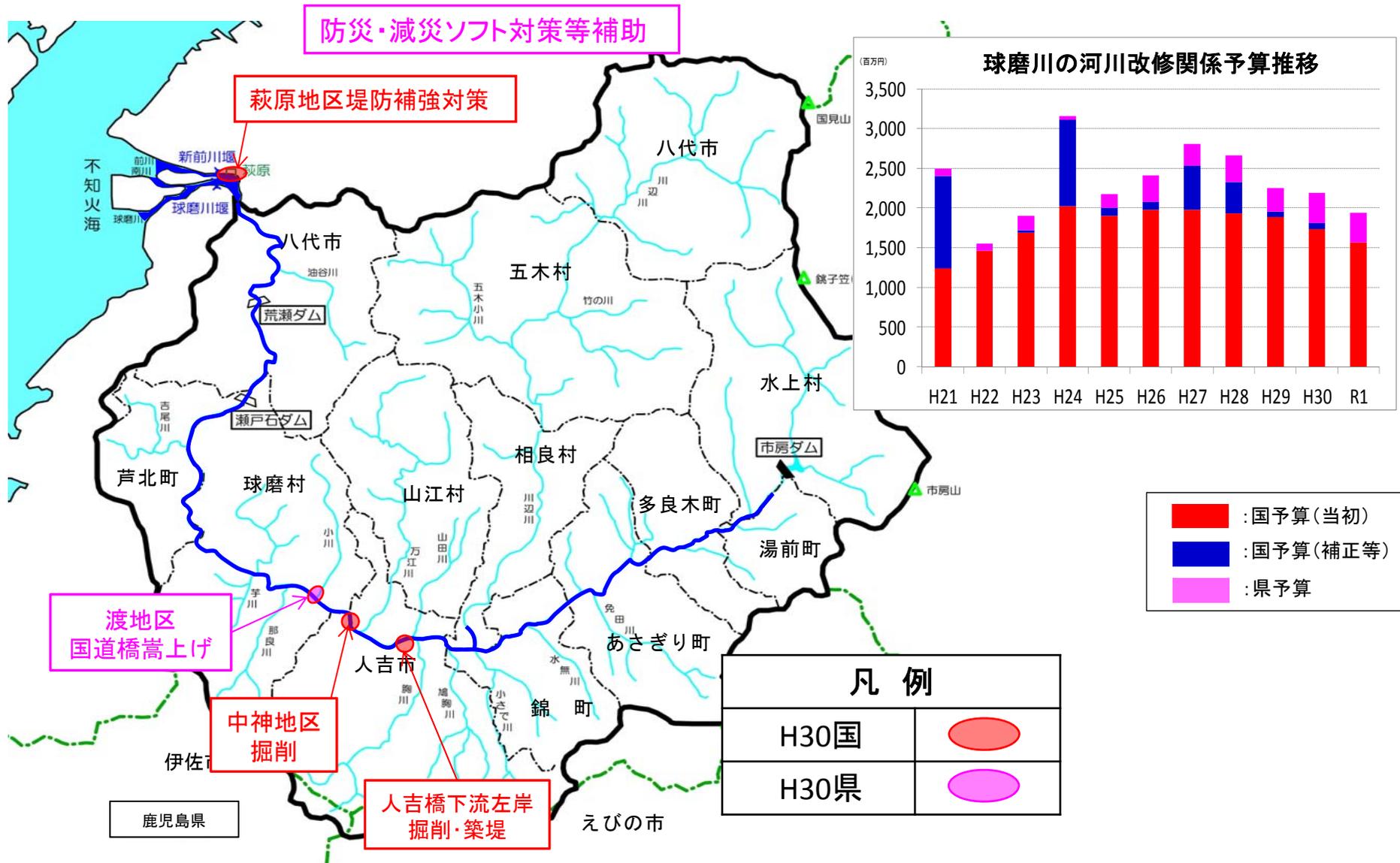
「検討する場」で積み上げた対策の進捗状況

令和元年11月13日

国土交通省 九州地方整備局
熊 本 県

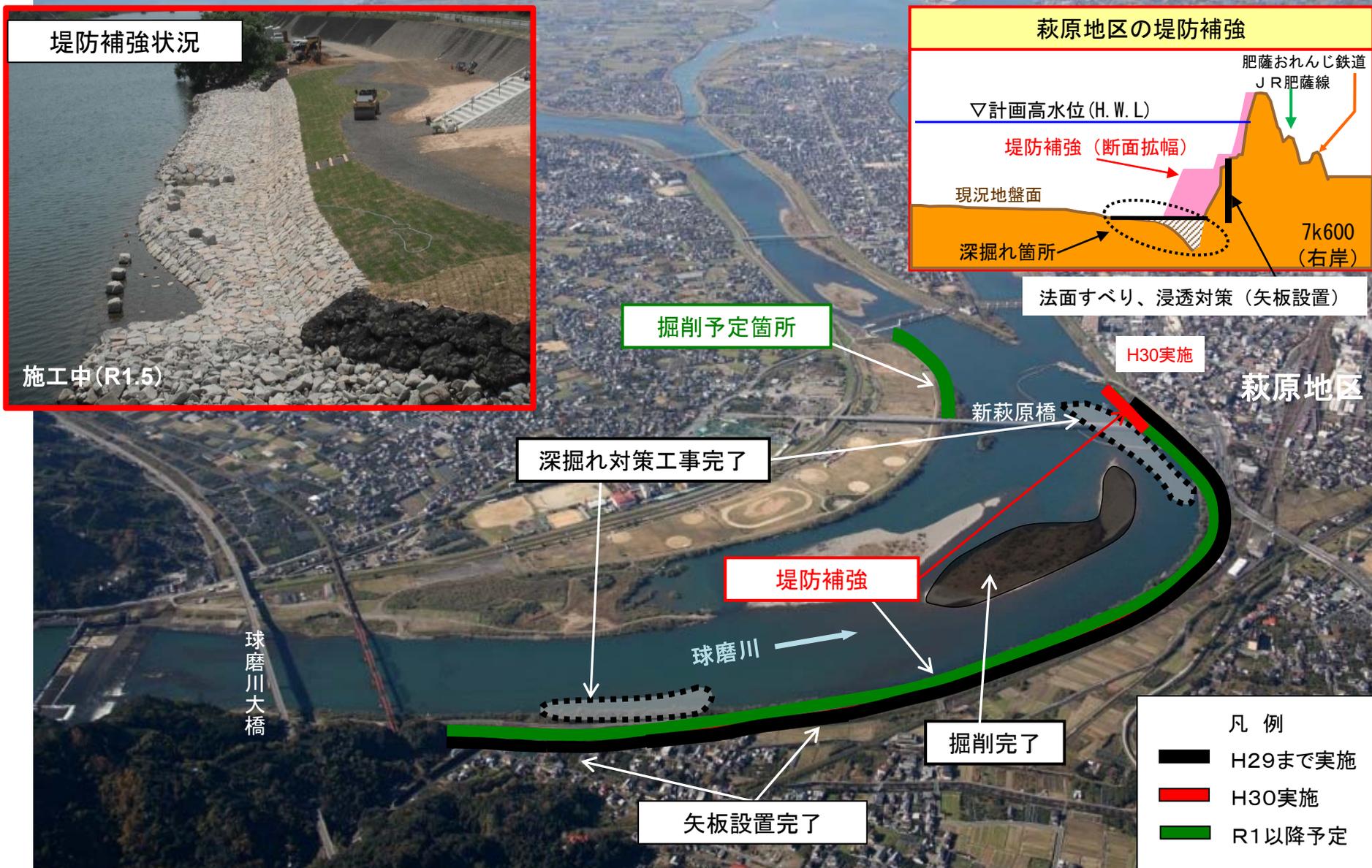


- 萩原地区において、堤体の安全性を段階的に向上させる対策として堤防補強等を継続実施
- 人吉市下流地区の掘削を継続実施するとともに、人吉市街部の堤防未整備区間の掘削・築堤を完成



「直ちに実施する対策」－ 萩原地区の堤防補強

○堤防前面の深掘れ対策を平成22年に概ね完了、矢板打設によるすべり等対策を平成29年に完了、平成30年から断面が不足している箇所での堤防補強対策を実施中。



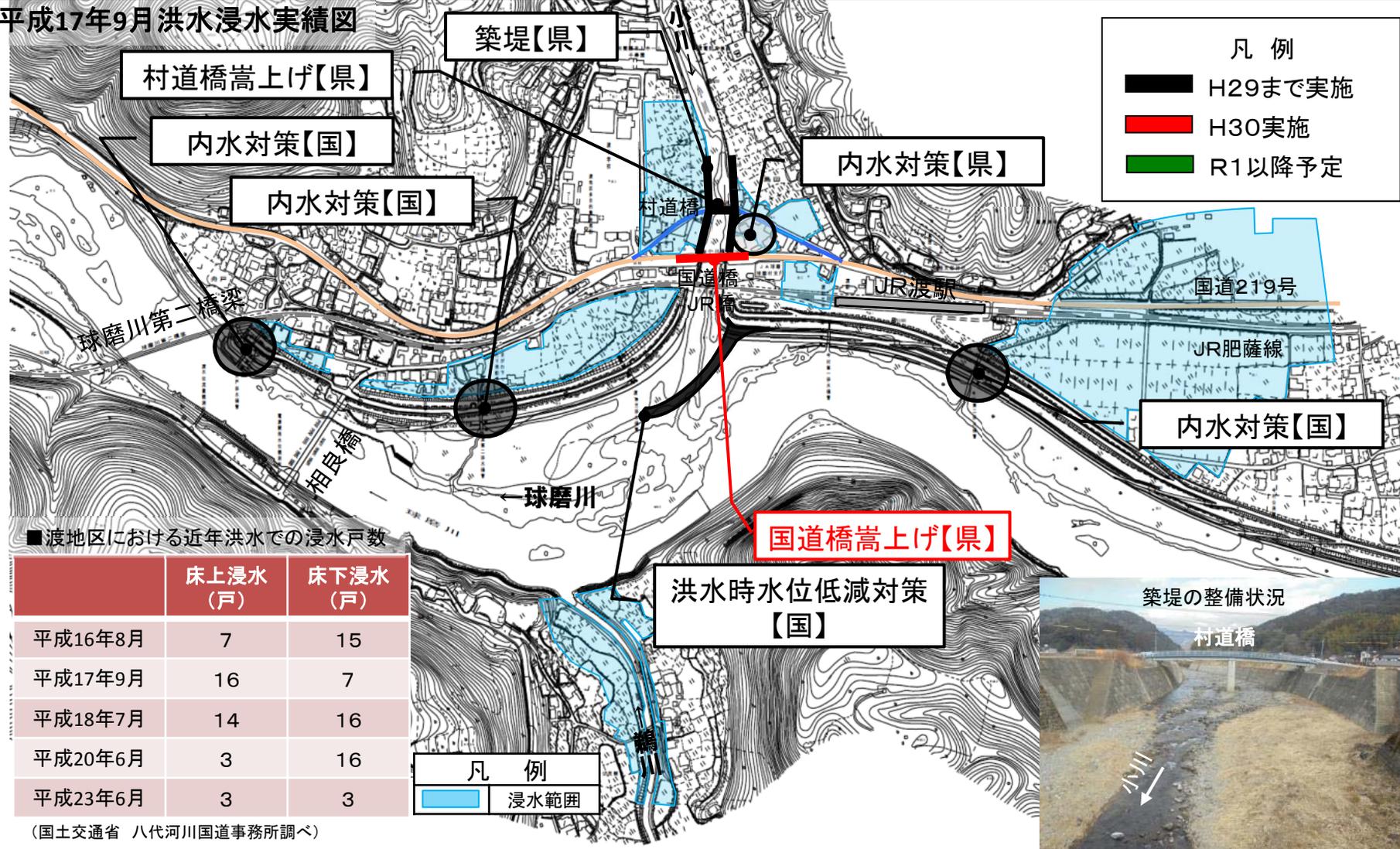
「直ちに実施する対策」－ 下流部改修の進捗状況に合わせた内水対策(渡地区)

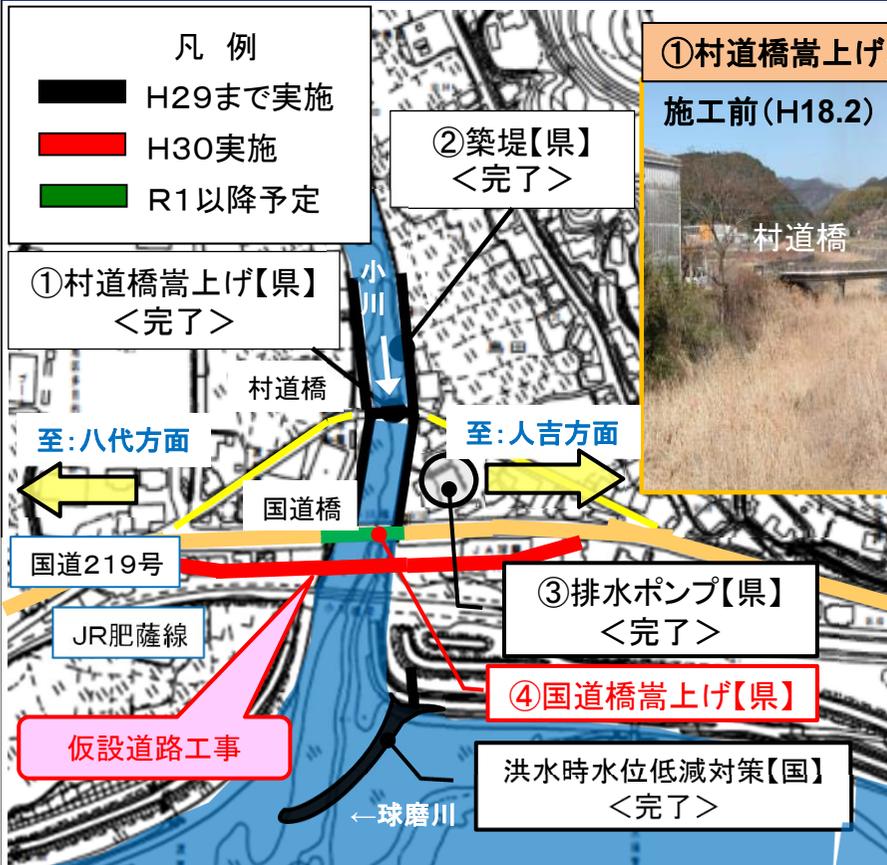
○国・熊本県・球磨村の適切な役割分担の下、球磨村渡地区において総合的な内水対策を実施している。

○国施工の導流堤、可搬式ポンプは完了。

県施工の村道橋嵩上げ、排水ポンプ、築堤は完了。平成30年度は、国道橋嵩上げ(架け替え)に伴う仮設道路の設置と、下部工工事を実施。令和元年度は、上部工工事を実施し、供用を開始する予定。

平成17年9月洪水浸水実績図





①村道橋嵩上げおよび②築堤 施工前・後 写真 (※下流から上流を望む)



④国道橋嵩上げ工事 状況写真 (※八代側から人吉側を望む)



④国道橋嵩上げ イメージ写真



「追加して実施する対策」ー上流(人吉市周辺)の掘削・引堤

○人吉市域の大柿・中神地区における掘削・引堤に関し、用地交渉や工事用測量等を進めつつ、下流から順次掘削を実施中。

人吉市中神地区掘削状況



「直ちに実施する対策」一人吉橋下流左岸の掘削・築堤

○人吉市街部には堤防未整備区間が存在している。

○平成28年に用地補償が締結されたことから、平成29年度より掘削・築堤を実施、平成30年度に完成。

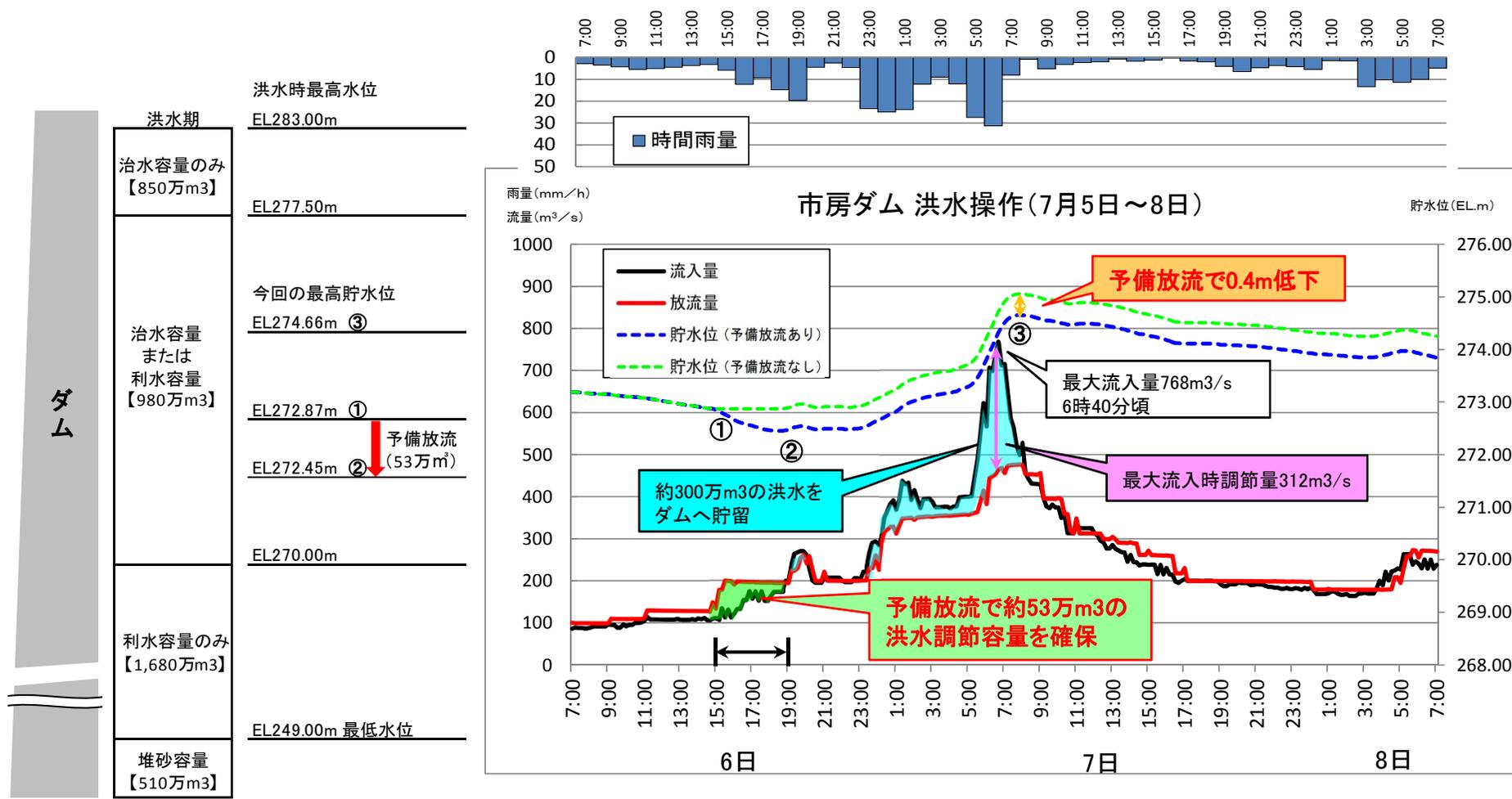


「追加して実施する対策」－ 市房ダムの有効活用

- 利害者等との協議を重ね、予備放流(試行)※の実施について合意。
- 平成30年7月豪雨において、市房ダムで初めて予備放流(試行)を実施し、約53万m³の洪水調節容量を確保。
- 今後も更なる容量の確保に向けて、試行を継続。

※ 洪水が予想される場合に、ダムに貯め込む容量を増やすため、あらかじめ放流すること

● 実施期間: 平成30年7月6日(金)14時42分～18時47分【約4時間】



○事業概要

「ダムによらない治水を検討する場」共通認識に基づき、熊本県として、球磨川水系の洪水から人命を守り、財産被害の最小化を図るため、河川整備等のハード対策の着実な推進に加え、流域市町村が行う防災・減災ソフト対策等に対して、補助金を交付するもの

《 期 間 》 平成27年度から（10年程度）

《 補助率 》 2／3

《 財 源 》 熊本県球磨川水系防災減災基金（総額10億円を積立予定）

《補助対象》 球磨川水系の水害対策に資する事業

《今年度予算》 187,490千円

平成30年度の実施状況

・179,526千円を交付済み。流域全12市町村で、地域の実情に応じ、各種事業に取り組まれている。

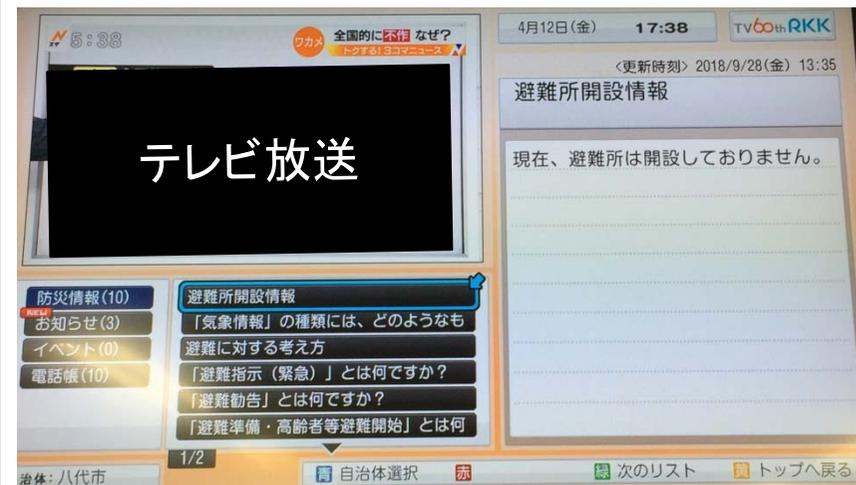
【主な取組】

予防的避難、データ放送行政情報表示事業、ハザードマップの作成
内水対策として実施する排水機能の確保、備蓄物資の購入 等

○予防的避難の実施

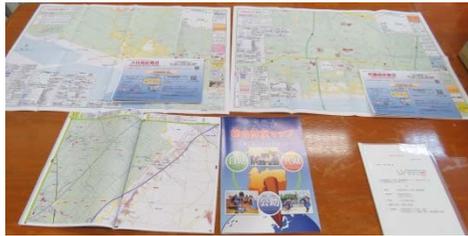


○データ放送行政情報表示事業



平成30年度の実施状況

○ハザードマップの作成



○備蓄倉庫の整備

備蓄倉庫



○水防資機材、備蓄物資の整備

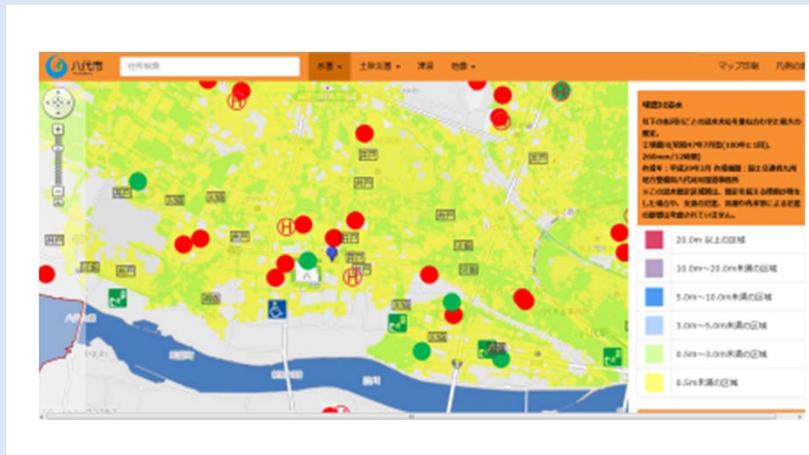
発電機



非常食



○web版ハザードマップの構築



○内水対策

(排水用ポンプの整備)



○内水対策

(普通河川の整備)

